

# 第3次守谷市環境基本計画

子ども概要版

# 01 はじめに

## 第3次守谷市環境基本計画とは？

### ■ 環境基本計画の役割

環境のことをよく考えて、みんなで協力してよい環境をつくるためのルールのことです。これは、市に住む人やお店の人、市の仕事をする人たちが、同じ気持ちでそれぞれできることを知って、行動するためのものです。また、環境の計画をまとめたり、市で行ういろいろな活動が環境にいい方向に進むように助ける役目もあります。

### ■ 計画策定の背景

前の計画ができてから、ごみを減らしたり、二酸化炭素を減らしたり、みんなに環境のことを教える活動が進んできました。でも、新しく守谷サービスエリアにスマートインターチェンジができることで、土地の使い方が変わり、新しい環境の問題が心配されています。また、環境のために活動するグループの人が少なくなっていることも気にされています。

世界では、気候が変わって大雨や暑い日が増えたり、いろいろな生き物が減ったり、食べ物を無駄にする問題があります。これをよくするために、みんなで温室効果ガス（地球をあたためるガス）を減らそうとがんばっています。日本では2050年までにこのガスをゼロにすることを目標にしています。守谷市もその目標に向かって活動しています。

この新しい計画は、世界や日本の状況を考えながら、いろいろな環境の問題にしっかり対応し、市民や会社、市の仕事をする人たちが協力して、ずっと住みやすい町を作るために作られました。

## 守谷市が目指す望ましい環境像

### 豊かな自然と快適な暮らしを未来へつなぐまち・もりや

この地に残された自然がもたらす多くの恵みと、これまで築いてきた安全で快適な生活が融合したまちを、未来の世代に引き継いでいきます。



# 02 守谷市での取組

## ● 第3次守谷市環境基本計画をもとに環境への取組をすすめます！

今あるきれいな自然を守って、これからもずっと大切にしていけるためには、市に住んでいる人やお店の人、市の役所の人たちが一緒にがんばることが大切です。だから、この計画では、市の人やお店の人ができることをわかりやすく教えています。また、市の役所の人たちは、みんなが続けて環境を守るために、いろいろな部署と協力しています。さらに、市民のグループや近くの町とも協力して、環境を守る活動をどんどん進めていきます。

## ● 第3次守谷市環境基本計画の計画体系図

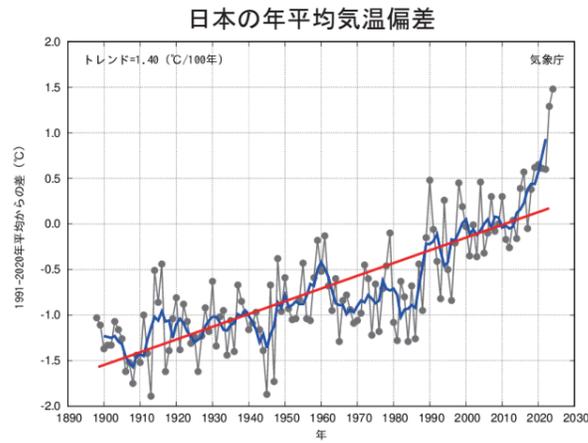


## ● 計画期間

令和8年度から令和17年度の10年間の計画です。世の中の環境の変化や新たな問題がおこった場合などには、必要に応じて見直しを行います。

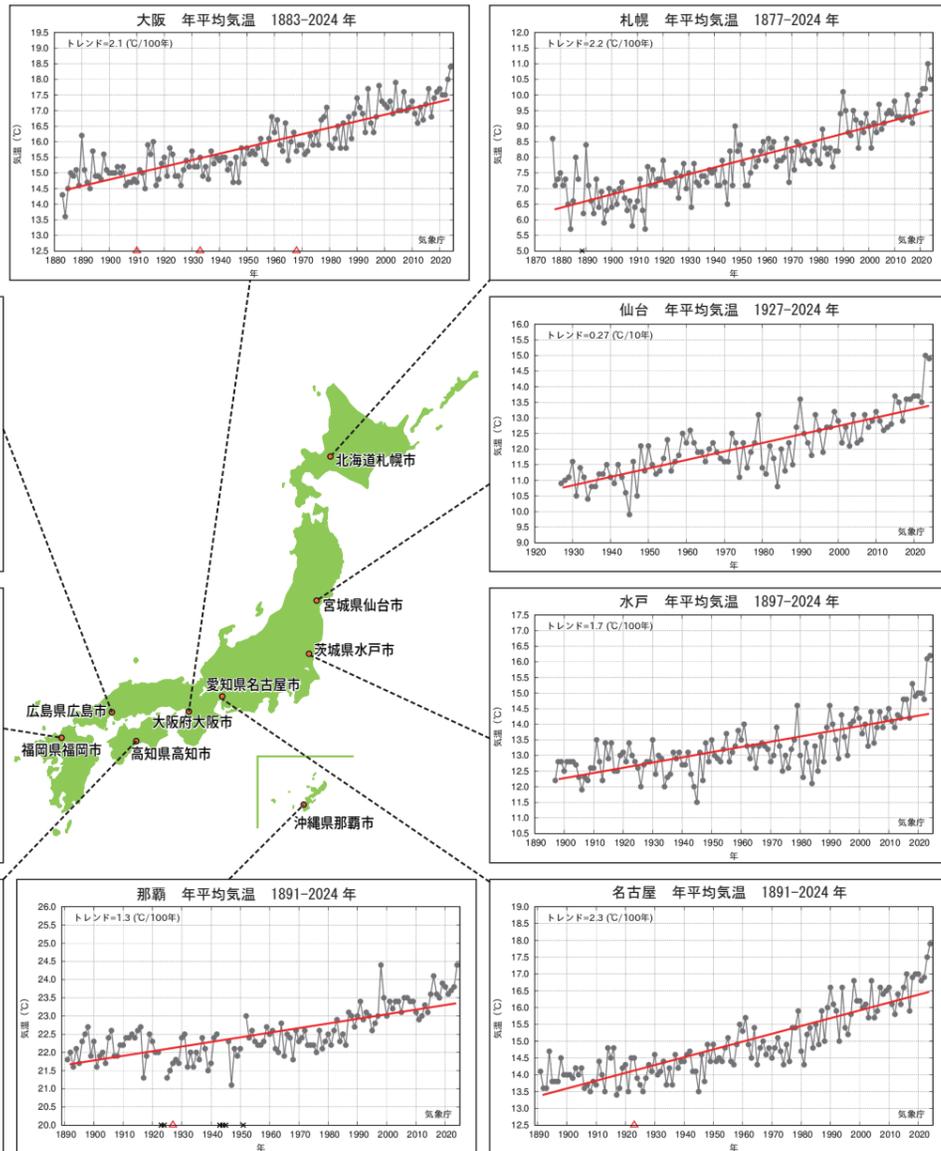
## ● 地球温暖化・気温の上昇

地球の平均の気温がだんだん高くなることを「地球温暖化」といいます。地球温暖化が進むと、今までにないくらい暑い日や大雨が増えて、自然やみんなの生活にいろいろな問題が起きます。日本でも、気温は長い間少しずつ上がっていて、100年で約1.4度高くなっています。特に1990年代からは、とても暑い年が多くなっています。



## 『地域別にみってみると…?』

日本国内の様々な地域の観測データも、年平均気温が上がり続けていることを示しています。



※地域によって変化は異なります。また、地域によって観測が始まった年も異なります。

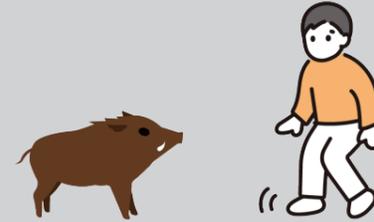
日本のさまざまな地域の年平均気温 (気象庁の観測データ)  
出典: A-PLAT「気候変動の観測・予測データ」の「気象観測データ (気象庁提供)」を基に構成

## ● 森林や里山の整備

町が大きくなったり、新しい家がたくさん建ったりしたことで、近くにあった木や草が少なくなってきました。そうすると、鳥や虫などの生き物が住みにくくなってしまいます。また、森や里山を守ったり手入れしたりしてきた地域のグループの人たちが少なくなったり、年をとって活動ができなくなったりして、これからはそういう活動が減ってしまうかもしれないと心配されています。



## イノシシに会ってしまったら…?



- ① 静かにその場を離れましょう
- ② 威嚇したり、追い払ったりしてはいけません
- ③ イノシシの子ども (うり坊) を見かけても、近づいてはいけません

## ● イノシシなどの害獣の増加

守谷市では、イノシシが増えてきて、特に町の中に出てくる回数が増えてきています。市では、みんなにイノシシに気をつけてもらうために、イノシシが出る場所の近くに注意の看板を立てています。また、イノシシを捕まえたり、畑を守るためのフェンスを作ったり、捕まえる活動をもっと増やしたりして、いろいろな方法でイノシシから農作物を守っています。

もしイノシシに会ってしまったら、イノシシはふだんはこわがりなので、だいたい人を見たら逃げます。それでも、イノシシをびっくりさせないようにして、イノシシの見えない場所や、イノシシが簡単に登れない場所に静かに逃げるのが大切です。

## ● ごみや食品ロス問題

日本では、1年間にお店や会社、家から出るゴミの量がとても多くて、約3,897万トンもあります (2023年のデータ)。このうち、5分の1くらいの769万トンはプラスチックのゴミだと考えられています。

また、お店で売れ残った食べ物や、家で食べ残した食べ物など、本当は食べられたはずの食べ物のゴミ (食品ロス) が1年間で約464万トンもあります。これは、1人が1日に約102グラム (おにぎり1個くらい) の食べ物を無駄にしている量です。



## ● 自然災害の激甚化

最近、天気がおかしくなることが増えてきています。特に、すごく強い雨が何度も降ることが多くなっています。気象庁 (きしょうちょう) というところの調べでは、1日に200ミリ以上の大雨が降る日が、昔に比べて約1.7倍も増えました。また、1時間に50ミリ以上のとても強い雨も、昔より約1.4倍多くなっています。つまり、すごく強い雨が急に降ることが増えているということです。



# 04 未来に環境をつなぐためにできること

## ● これまでの生活・過ごし方を振り返って考えてみよう

私たちの生活は、石油や石炭、天然ガスなどの自然からとれるものを使って便利になりました。でも、自然を大切にせずに土地を開発したり、川や海、森に悪いものを流したりしたために、自然がこわされてしまいました。

もしこのまま自然を大切にせずに、便利だけを求めて資源を使い続けると、自然の恵みがなくなってしまいます。そうすると、今の人だけでなく、これから生きる動物や植物にも悪い影響が出てしまいます。

だから、昔の人たちからもらった大切な自然を守り、自然を元に戻しながら、資源をむだに使わずに、ずっと豊かに暮らせる方法を考えることが大切です。

### 守谷市の環境を未来につなぐために

#### 自然環境・生物多様性



- 里山保全活動に参加してみたり、身近な自然環境に興味を持ってみる。
- 守谷市民大学などの公開講座を受講してみても、環境への知識を深め、周囲の人たちにも広げていく。

#### 生活環境



- 地域美化活動などをみんなに知ってもらうため情報の発信をして、活動に多くの市民に参加してもらい、綺麗なまちをみんなで作る。

#### 資源循環・廃棄物



- ごみを減らすために5Rを理解し、行動につなげる。さらに、ごみを適切に分別して資源のリサイクルを積極的に実施する。

#### 脱炭素社会・地球環境



- 不要な照明を消灯したり、省エネルギー行動に積極的に取り組んでいく。
- 気候変動については正しい知識を学び、興味関心を高めていく。

#### 環境活動・市民行動



- 環境教育で得た知識などを実体験として活用できる自然体験学習やボランティア活動に参加してみても、環境に興味関心のある人を増やす。

# 05 脱炭素につながる新しい豊かな暮らし

## クールビズ・ウォームビズ、サステナブルファッションに

いま持っている服を長く大切にしたり、リユース(再利用)でファッションを楽しむ、服がどのように作られるか関心を持つことで、サステナブル(持続可能な)ファッションの取組に繋がります。



## 公共交通・自転車・徒歩で移動しよう

徒歩、自転車や公共交通機関など、自動車以外の移動手段を積極的に利用することで、二酸化炭素の排出量を減らすことができます。さらに、渋滞に巻き込まれにくい、健康づくりに役立つメリットもあります。



## ごみを減らし、資源として分別・再利用しよう

有料ゴミ袋の使用量を控えたり、マイボトルを活用すると節約ができるだけでなく、環境にも優しくなります。ラベルレス製品を利用すると分別も楽になります。



## 必要な分だけ買う工夫をしよう

はかり売りを利用するなど、好きなものを必要な分だけ購入することで、食品ロスを減らすことができます。



## 高効率給湯機や節水機器を選ぼう

ご自宅の住環境を快適にするだけでなく、月々の光熱費を削減することができ、さらには二酸化炭素排出削減にもつながります。



## 環境にやさしい次世代自動車を選ぼう

石油以外の資源を燃料に使うことによって、既存のガソリンやディーゼル車より二酸化炭素などの排出量を少なくなります。



## 宅配便の再配達をなくそう

配達日時の指定、宅配ボックスや宅配ロッカー等を活用し、宅配便は一度で受け取ることで、二酸化炭素排出量を減らせます。



### 『脱炭素』とはどういうこと？

地球の温度が上がってしまう原因の一つに「二酸化炭素(にさんかたんそ)」という気体があります。これは、人が車を走らせたり、工場で物を作ったりすると出てしまいます。この二酸化炭素を少なくして、地球の温度が上がらないようにしようという考えを「脱炭素(だつたんそ)」といいます。

脱炭素のために使う新しい技術ややり方は、まだ作っている途中のものもありますが、もう使えるものもたくさんあります。わたしたち一人ひとりが、そうした技術を使ったり、環境にやさしい生活を心がけたりすることで、みんなの力で地球を守ることができます。

## 守谷産の旬な食材を選ぼう

地域の旬の食材を食べることはエネルギーの抑制に貢献出来るだけでなく、地域活性化や職の安全保障にも貢献できます。また、旬の食材は美味しく、栄養価も高く、季節を実感できます。



## テレワークで働こう

移動時間の削減により、通勤の疲労を減らし、余暇時間を増やします。また、転職をせずに地方移住ができたり、育児や介護中でも働けるなど、多様な働き方・ワークライフバランスも実現します。



## 食品ロスをなくそう

食品ロスとは、本来食べられるにも関わらず捨てられてしまう食べ物のことです。食品ロスを減らすことは、廃棄物の減量はもちろんのこと、食費の節約にもつながります。



## LED・省エネ家電を選ぼう

LEDや省エネ家電などのエコグッズを生活の中に取り入れることで、光熱費が節約できたり、高性能な製品を通じて快適で便利な生活を送ることができます。



## 断熱省エネ住宅に住む

住まいの窓や壁等を熱を伝えづらいものにする「断熱住宅」にすることで、室内外への熱の出入りを抑え、夏は涼しく、冬は暖かい快適な室内環境となります。



## 太陽光発電など再生可能エネルギーを取り入れよう

発電した電気を使用して毎月の光熱費を大幅に節約できます。地震や台風など災害時に停電しても、太陽光発電等の再生可能エネルギーでつくった電気は使うことができます。



**守谷市 第3次環境基本計画**

子ども概要版のもととなっている環境基本計画が掲載されています。守谷市の環境を保全していくために、市民・事業者・市の取組などが載っています。さらに、計画書の冒頭には環境基本計画の概要なども簡単にまとめています。

**こども環境省**

地球温暖化やささいな水や空気、自然や生き物、廃棄物処理、化学物質対策など、さまざまな地球環境問題や、それらに関する環境省の仕事を学べるページです。

**生物多様性センター キッズコーナー**

環境省生物多様性センターキッズコーナー。生物多様性のこと、生物多様性センターの仕事などを掲載。

**子ども向け気候変動適応情報プラットフォーム A-PLAT KIDS**

変化する気候に生活や社会を変えていく「気候変動への適応」・「適応策」について、こども向けにまとめたサイト。気候変動適応クイズ・e-ラーニング教材、自習・自由研究素材等を掲載。

**環境省広報誌「エコジン」**

「エコジン」は、最近の環境行政情報や、企業や個人の方々の環境問題に対する先導的な取組を紹介し、国民一人ひとりが環境のことを考え、地球のためにできることを見つけ出すために役立つ情報をお伝えします。

**食品ロスポータルサイト**

食べ物を捨てない社会へ。食品ロスに関する情報を、消費者、自治体、事業者向けに分けて、わかりやすく掲載。食品ロスの削減に向けた消費者一人一人の取組などの例が載っています。

**サステナブルファッション**

サステナブルファッションの概要や統計などの情報を掲載。ファッションと環境の現状に対して、生活者と企業が一緒に取り組める対策が載っています。

**第3次守谷市環境基本計画 《子ども概要版》**

【編集・発行】

守谷市生活環境部生活環境課

〒302-0198 茨城県守谷市大柏 950 番地の 1

TEL 0297-45-1111 (代表) FAX 0297-45-6526

ホームページ <https://www.city.moriya.ibaraki.jp/>